

一般質問

瀬戸間伏石橋を町指定文化財に



後迫哲矢議員

本町の瀬戸間伏川に大正十二年に建造された橋がある。

この石橋は、現在県所有のものであるが、まったく管理されておらず竹や雑木等が繁茂している。過去、野方地区の交通、産業、教育の振興に役立った重要な橋でもあり、後世に残すべき価値ある橋であると思うが、町指定文化財として対応する考えはないか。

調査検討して対応

教育長

瀬戸間伏石橋は、本町にある唯一の太鼓橋であり、その価値は認識している。町指定文化財にするには、保存の方法や現地の状況を調査する必要があるので十分調査検討したうえで今後の対応をする。

早急な整備の考えは

後迫議員

この橋は今対応しないとアーチ部分にクラックがあり保存できなくなる。早急な対応はできないか。また、今の環境をよくするため、瀬戸間伏の自然がもつ美しい渓谷や人がつくった石橋の文化を

調和させることは、「ひと・もの・しぜんが奏でる躍動の町」大崎町振興計画の基本理念である。その理念を生かす整備として積極的取り組みはできないか。

現況調査と検討が必要

教育長

現況が充分把握できていないことや県所有の石橋でもあり、事務的手続きも必要となるので、土地所有問題や今後の管理面も含め、文化財保護審議会や文化財専門家の意見も聞き、関係機関との協議を行いながらどのような対応ができるか検討したい。



瀬戸間伏石橋